

E A 2 1 環境経営レポート

2024年度版

<2023年9月1日～2024年8月31日（運用期間）>



モジュール 0.03 モジュール 0.05

有限会社テイコク

発行日付：2024年11月21日

I 事業活動の概要 (対象範囲)

事業所名

有限会社テイコク

代表取締役

中嶋 静

所在地

茨城県石岡市下林 1298

[電 話]0299-43-0813

[F A X]0299-43-0827

[E-mail]teikoku@iinet.ne.jp

環境管理責任者

中嶋 めぐみ

事業の規模

資本金 1 千万円

社員数 29 名 (2024年8月31日現在・パート、派遣を含む)

事業所数 1ヶ所

設立 昭和 63 年 9 月 1 日

事業概要

歯車製造 及び 機械加工

対象範囲 (認証・登録範囲)

対象組織 全組織

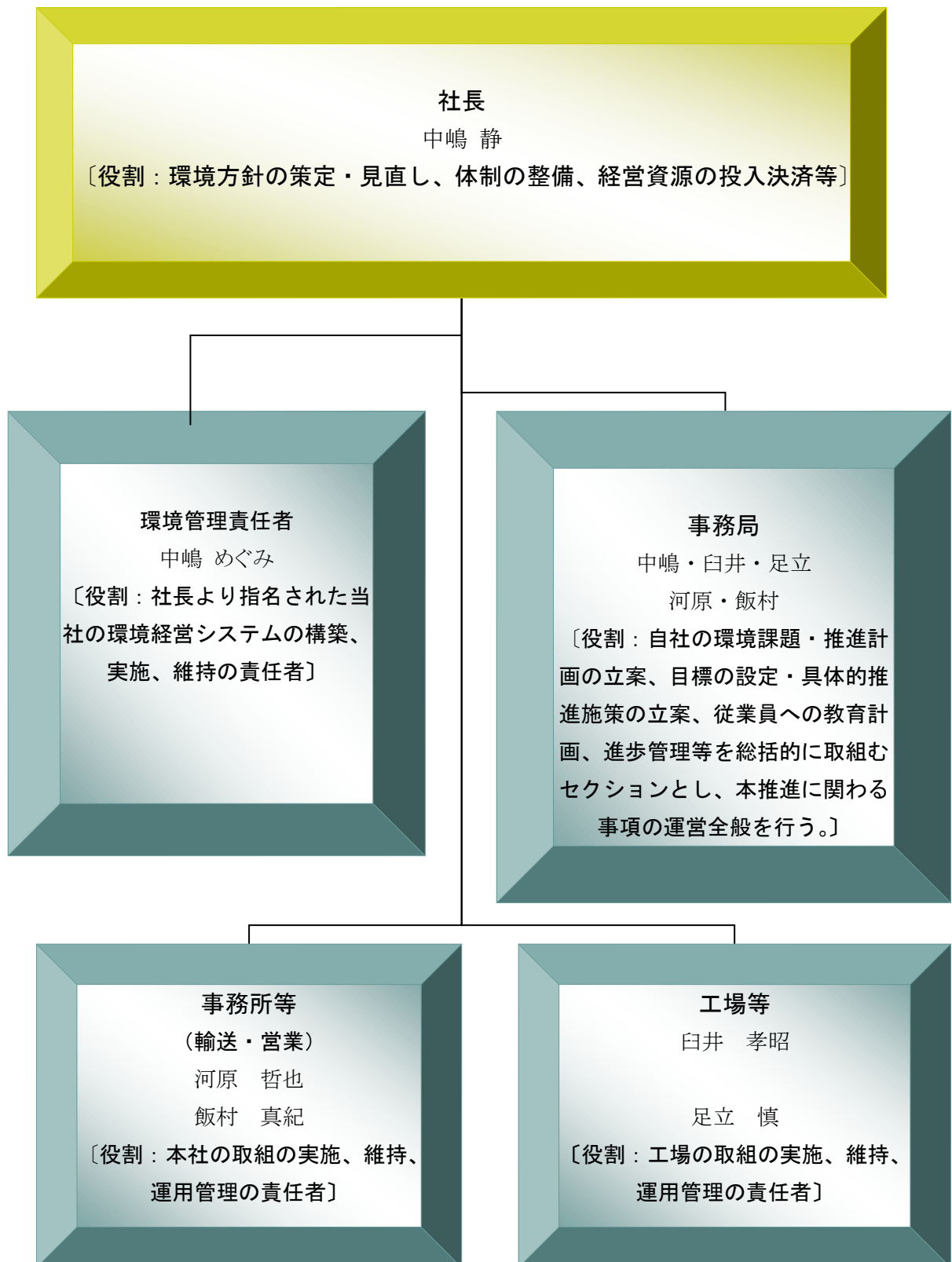
建物の状況

工場敷地	6,600 m ²	(2000 坪)
工場建物 第一工場	990 m ²	(300 坪)
第二工場	660 m ²	(200 坪)
事務所建物	165 m ²	(50 坪)

主要設備等の状況

機械設備 別表

組織図（実施体制：2024年8月31日現在）



Ⅱ 基本方針

企業理念

当社は、経営上の課題を常に念頭に置きながら、地球を守るため、環境との共生・調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持つと共に全社員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組む経営を目指し継続的改善を推進します。当社の歯車製造の事業活動が地域社会の環境を配慮し調和を保てるよう、環境経営方針を定め、地域環境の保全活動に自主的かつ積極的に取り組むことを誓約します。

なお、私達は環境に関する法規制を遵守していきます。

環境経営方針

1. 自社における二酸化炭素排出量削減の推進

事業活動に於ける電力、軽油、ガソリン、灯油などの削減による二酸化炭素排出量の低減を推進します。

2. 廃棄物排出量削減の推進

事業所から出る廃棄物を最小限にすることを推進します。

3. 総排水量削減の推進

事業所内で使用する水の削減により、総排水量の削減を推進します。

4. 作業量増減の対応力

作業者の多能工化を推進します。

2019年7月1日

有限会社ティコク

代表取締役 中嶋 静

Ⅲ 環境目標とその実績・取組結果

(1) 運用期間

運用期間は 2023 年 9 月 1 日～2024 年 8 月 31 日

(2) 目標状況

今後は、次の 3 カ年目標を掲げて環境活動に取り組んでいきます。

なお、化学物質についての取扱・使用はありませんが、発生した時はあらためて取り組みを計画します。

取組項目	2024 年度実績	2025 年度 (2024 年度比較)	2026 年度 (2024 年度比較)	2027 年度 (2024 年度比較)
1 kg 当たりの CO ₂ 排出量削減 (単位: kg-CO ₂ /製品kg)	0.394	1%削減 0.326	1.5%削減 0.325	2%削減 0.323
CO ₂ 排出量実績値 (単位: kg-CO ₂)	443978.1			
① 電力使用量把握 (単位: kWh)	895149			
② 軽油使用量把握 (単位: ㍓)	8259.38			
③ ガソリン使用量把握 (単位: ㍓)	2687.5			
④ 灯油使用量把握 (単位: ㍓)	1005.0			
廃棄物の排出量を削減する (単位: kg/製品 t)	1.90	1%削減 1.88	1.5%削減 1.87	2%削減 1.86
① 廃棄物の排出量把握 (単位: kg)	2140.0			
水使用量を削減する (単位: m ³)	350.0	1%削減 346.50	1.5%削減 344.75	2.0%削減 343.00
作業者の多能工化 (単位: 分/人)	—	平均値 1%削減 (2023 年年度較)	平均値 1.5%削減 (2023 年年度比較)	平均値 2%削減 (2023 年年度比較)

(3) 運用期間の結果(実績)については次のとおりです。

取組項目	2021 年度実績	2024 年度 (目標)	2024 年度 (実績)	目標達成状況
1 kg 当たりの CO ₂ 排出量削減 (単位: kg-CO ₂ /kg)	0.330	2.0%削減 0.323	0.394	×
CO ₂ 排出量実績値 (単位: kg-CO ₂)	429512.4		443978.1	
① 電力使用量把握 (単位: kWh)	858041			
② 軽油使用量把握 (単位: ㍓)	7841.70			
③ ガソリン使用量把握 (単位: ㍓)	2838.5			
④ 灯油使用量把握 (単位: ㍓)	2379.0			
廃棄物の排出量を削減する (単位: kg/製品 t)	2.21	2.0%削減 2.17	1.90	○
① 廃棄物の排出量把握 (単位: kg)	2880		2140	
水使用量を削減する (単位: m ³)	2022 年度実績 364.0	2.0%削減 356.72	350.00	○
作業者の多能工化 (作業時間)	平均値	平均値算出	—	—
① 測定技能教育 (平均時間)	7 分 32 秒	7 分 22 秒		—
② フォークリフト運転技能教育				
パレット (平均時間)	1 分 15 秒	内容変更		—
サーメット (平均時間)	2 分 48 秒	2 分 41 秒		—

(購入電力の CO₂ 排出係数: 0.462(kg-CO₂/kWh) 2017 年度 東京電力エナジーパートナー)

Ⅳ 主要な環境活動計画の内容

(1) 目標を達成するための取組み

① 電力使用量削減

- 昼休憩は消灯する
- 事務所の室内調整温度(夏 26℃冬 23℃)の管理。
- 工場の冷暖房の温度設定(夏 28℃冬 20℃)の管理。
- 事務所の冷暖房は業務終了 10 分前に消す。
- 設備品を購入の際は省エネタイプを選ぶ。

② 軽油使用量削減

- 運搬の集約。
- 燃料を満タンにしない。
- タイヤの空気圧チェックを定期点検時にする。

③ ガソリン使用量削減

- 急発進、急ブレーキをしない。
- タイヤの空気圧チェックをこまめにする。
- 駐車時エンジン停止。

④ 灯油使用量の削減

- ストープの設置個所ごとの適正な火力調整及び管理。
- 昼休憩時間は止める。

⑤ 廃棄物排出量削減

- 梱包材の再利用。
- コピー用紙の再利用。

⑥ 水使用量削減

- 水を流し放しにしない。

⑦ 作業者の多能工化

- 実測、集計
- 教育実施、現場での実践

V 環境活動の取組み結果の評価、次年度の取組内容

(1) 当社の環境への負荷の低減・管理への評価

CO2 排出量実績値が増加したが、気温上昇に伴うエアコンの使い方が、主な原因だと推測される。廃棄物排出量削減、水使用量削減は達成できた。

(2) 環境マネジメントシステム導入の評価

- 法規制や、自主規制、環境への配慮などに関するチェック機能が強化された。
- 電力使用量、軽油使用量、ガソリン使用量、灯油使用量などの数量を把握することにより、社員の取組み意識が向上することが出来た。

(3) 次年度の取組内容

今年度ここまでの取組内容を今後も引き続き実施し、社員全員で企業理念、環境経営方針を全体会議時に話し合いながら、取組み意識を向上し目標達成を図る。

VI 環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

(1) 適用される主な環境関連法令等の遵守状況の確認及び評価の結果

以下の法令について、環境管理責任者により 2024 年 8 月 31 日各要求事項が実施されかつ問題のないことを確認した。

- 水質汚濁防止法
- 浄化槽法
- 廃棄物処理法
- 石岡市廃棄物条例
- 自動車NOx・PM法
- 消防法
- 労働安全衛生法
- 騒音規制法
- フロン排出抑制法

(2) 違反、訴訟等

2024年度において、環境関連の違反、訴訟等はなかった。

なお、関係当局よりの違反等の指摘も、過去3年間ない。

VII 代表者による全体評価と見直し・指示

地球温暖化が進み、毎年異常気象と言われる中、社員の健康を考えつつ、会社として、どの様に環境負荷の低減に取り組んでいくのか、改めて考えていきたい。

また、作業者の多能工化を今後も実施し、社員の能力アップにつなげる。実施方法については、状況を踏まえ、必要な時は改善を進めていく。

以上